

第3回 恵庭市学力・体力向上推進会議

日 時 令和2年2月14日(金)13時30分

会 場 恵庭市民会館 1階 第1会議室

〈 次 第 〉

1 開 会

2 委員長挨拶

3 教育長挨拶

4 議 事

1) 令和元年度 学力・体力向上に係る主な施策の実施状況について

2) 令和2年度 学力・体力向上に係る主な予算(案)について

5 学力向上に係る情報提供(学力向上アドバイザーより)

6 意見交換

7 その他

8 閉 会

令和元年度 学力・体力向上に係る主な施策の実施状況
及び 令和2年度 学力・体力向上に係る主な予算(案)

【学力向上】

主な施策	令和元年度の実施状況	課題、令和2年度以降の方向性	予算額(千円)
標準学力検査(NRT)の実施	●小学2～6年生、中学1～3年生を対象に実施	○令和2年度以降も継続して実施する。	継続 6,038
英検IBAの実施	●北海道教育委員会の英語力向上事業として、中学1～3年生を対象に実施 【資料2参照】	○令和3年度まで(3年間)北海道教育委員会の事業として、中学1～3年生を対象に実施する。	継続 0 ※英検協会負担
ALT(外国語指導助手)の配置	●JET-ALT1名、派遣ALT3名(計4名)を全校に派遣 ※平成30年度から1名増	○令和2年度も4名での指導となるが、小学校新学習指導要領の完全実施に伴う外国語・外国語活動の時数増に対応するため、令和3年度以降の派遣ALTの増員について検討する。	継続 15,955
外国語指導に係る地域人材の活用	●個人3名、団体1団体を小学校5校に派遣 ※平成30年度から1校増	○小学校新学習指導要領の完全実施に伴う外国語・外国語活動の時数増に対応するため、指導時数を増やし、令和2年度以降も継続して派遣する。	拡大 2,193
小学校プログラミング教育指導に係る地域人材の活用	●1団体を小学校全校に派遣	○校内研修の充実を図るとともに、令和3年度も地域人材の活用について検討する。	新規 88
教職員への研修、環境整備等	●サマー・ウインターセミナーでの研修や校内研修(電子黒板の活用事例、新学習指導要領への対応、小学校プログラミング教育等) ●学習支援員1名を任用 ●ICT環境の整備	○教員の意欲が向上し、質の高い授業を行うことで学力向上につなげるため、引き続き研修の充実や環境整備を図る。 ○電子黒板の整備に伴い、教員から要望があったデジタル教科書の導入について、令和2年度は小学校分(5教科)を購入 ※令和3年度は中学校分(5教科)の購入を要望する。	継続 13,165 ※デジタル教科書
地域人材による学習指導(放課後学習会、土曜スクール等)	●学生ボランティアの協力や、コミュニティ・スクール(学校運営協議会を設置した学校)としての活動により実施	○学校運営協議会については、令和2年度に3校が設置予定(合計9校) ※令和3年度までに全校が設置予定	継続 1,430

【体力向上】

主な施策	令和元年度の実施状況	課題、令和2年度以降の方向性	予算額(千円)
小学校体育授業への支援(体育指導員の派遣)	●北海道ハイテクACアカデミー及びセントラルフィットネスクラブ恵み野から指導員を派遣し、小学校の体育授業を指導 ※本年度から、市教委が全校の希望を取りまとめ、指導員の派遣を依頼 【資料3参照】	○児童の体力・運動能力の向上や、教員の指導力の向上に効果があり、各校のニーズも高いことから、令和2年度は北海道ハイテクACアカデミーから指導員を継続して派遣するが、令和3年度以降は派遣回数を増やすことについて検討する。	継続 240

令和元年度 英検 I B A の実施について

1. ねらい

学校や生徒本人が現在の英語力を把握するとともに、学習成果の確認や目標設定に活用することにより、英語力の向上を目指す。

2. 実施期間

令和元年10月7日（月）～25日（金）

※各学校・学年ごとに任意の1日を実施日に設定

3. 実施内容

市内全中学校の1～3年生を対象に実施

（北海道教育委員会の事業として、令和元年度～令和3年度の3年間継続して実施）

※恵庭市教育委員会の費用負担なし

内容	中学1年生	中学2年生	中学3年生
受験者数	645名	602名	623名
受験レベル	テストE (4級・5級レベル)	テストD (3級～5級レベル)	テストC (準2級～4級レベル)
問題数/ 試験問題	60問/45分 リーディング35問/25分 リスニング25問/20分	65問/45分 リーディング35問/25分 リスニング30問/20分	65問/45分 リーディング35問/25分 リスニング30問/20分

4. 実施結果

英検協会で採点・集計・結果分析を行い、各校ごとに成績資料が送付された

※恵庭市教育委員会への全校分の成績資料は、3月に送付される見込み

5. 各校からの主な意見（アンケートより）

- 生徒自身のレベル（相当級）がわかることでモチベーションが上がり、英検の受験者が増える傾向にある。英語への興味関心も強くなる。
- 授業改善や、教科指導に活用している。
- テストとアンケートをあわせて、50分で終わる内容が望ましい。

令和元年度 小学校体育授業支援事業について

1. 目的

小学校の体育授業において、市内の専門団体から指導を受けることにより、「児童の体力・運動能力の向上」及び「教員の指導力の向上」を図る。

2. 令和元年度 授業支援実績（1月末現在）

● ハイテクACアカデミー（各校上限6回）

種目	学校数	授業数
走り方	5	14
鉄棒	3	5
マット	2	2
跳び箱	1	2
スピードスケート	1	3
スキー	1	2

● セントラルフィットネスクラブ恵み野（各校1回）

種目	学校数	授業数
水泳	7	16

3. 各校からの主な意見（報告書・アンケートより）

- わかりやすい説明で、児童も教員も理解しやすかった。
- 専門的な指導により、児童も教員もスキルアップできる。
- 児童が自己の技能の上達・変容を体感しながら、意欲的に学ぶことができた。
- 外部指導員による継続的な指導が必要である。
- 派遣回数を増やしてほしい。